

# UNICEF NEWS in みやぎ

Vol. 74  
ユニセフ・ニュース  
2014年10月

## 1カ月で過去最大量の緊急支援物資を届けました

今年8月、ユニセフはその歴史上、1カ月では過去最大量となる緊急支援物資を供給。世界各地の人道危機にある子どもたちに1,000トンの支援物資を届けました。貨物用ジャンボ機19便分に相当する量となります。ユニセフ・物資供給輸送オペレーション部 部長のシャネル・ホールは「ユニセフは、同時に複数の異なる国々での大規模なニーズに対し、幅広く物資供給を展開しています。



▲避難を強いられている人たちのために届けられた、毛布や水と衛生の緊急支援物資（イラク）

支援を必要としている子どもたちにこれらの支援物資を届け続けるには、人道支援回廊を確保することが不可欠です」と述べました。



▲エボラ出血熱の支援のために空輸された緊急支援物資（リベリア）

イラクの戦闘や西アフリカでのエボラ出血熱への対応拡大を見越し、ユニセフは、できる限りのチャーター・フライトを確保していました。デンマークのコペンハーゲンにある物資供給センターからは、27日間で支援物資を積んだ緊急貨物便33便が飛び立ちました。

・・・以下、物資が輸送された国と供給された物資の概要です。

### \*中央アフリカ共和国：物資26トン进行供給。

ワクチンや緊急用の食糧、井戸を掘るための資材など。同国ではマラリアが子どもの死亡原因の第一位を占めており、マラリア対策のための物資を含めた医薬品も届けられた。

### \*イラク：北西部で避難生活を送る子どもと家族のために物資500トン进行供給。

緊急用の食糧、水、医薬品、栄養治療食など。隣国シリアでの保健システムの崩壊を受けて、イラクでもポリオの感染が確認されたため、400万ダースのポリオワクチンも供給。

### \*リベリア：物資248トン进行供給。

エボラ対策のために、医療従事者向けのゴム手袋、防護用ゴーグル、防護服のほか、高濃度の消毒用塩素、医薬品を供給。ユニセフは、政府を支援し、エボラ対策で脆弱化している物資供給能力の調査も実施中。

### \*パレスチナ自治区：物資3.5トン进行供給。

主にガザで、戦闘の被害を受けた病院や診療所に備蓄用の医薬品を供給。また過密状態で避難生活を送る子どもたちを感染症から守るために、ワクチンも提供。

### \*南スーダン：物資34トン进行供給。

栄養不良で死亡の恐れがある5万人の子どもたち向けの栄養治療食を含め、栄養支援と物資を供給。南スーダンでは、今年、5歳未満の子ども100万人近くが急性栄養不良の治療を必要としている。

### \*シリア：物資245トン进行供給。

空路で物資を供給して4年目となるシリアでは、ユニセフによる物資供給は、安定的な供給経路に。8月だけで、シリアに浄水剤や教育キット89トン进行供給。また、シリア難民が避難しているレバノンとヨルダンには、保健、教育、給水物資など156トン进行供給。冬に向けての準備も始めており、中東地域で子ども用の冬服を調達中。

ホール部長は「大規模な人道危機がいくつも起きていますが、常に子どもを最優先に考えねばなりません。ユニセフは、子どもたちのために活動しています。ユニセフは子どもたちが支援を必要とする限り、迅速な、そして複雑で幅広い物資の供給を続けていきます」と述べています。

・・・・・・日本ユニセフ協会 press release 2014年8月26日より

## 夏休みユニセフ教室 「親子で参加する外国コイン仕分け活動」



7月26日(土)、みやぎ生協文化会館ウィズを会場に、小学生親子などボランティアに約70名が参加しました。仙台空港の「ユニセフ・外国コイン募金箱」に、海外から帰国した方々が外国コインや紙幣を募金してくださっています。年1回回収し、国ごとに仕分けを行っています。日本では、一部の紙幣を除いては両替できませんが、それぞれの国に戻れば立派な貨幣です。

午前中は、ユニセフがどのような活動をしているか、今日行う仕分け活動がどのように役に立つかを、ビデオ「ユニセフと地球のともだち」で学習しました。仕分けの手順を聞いて、6つのグループに分かれてコインの仕分けをしました。初めて見るいろいろな国のコインに戸惑いながらも集中して取り組みました。アメリカ、イギリス、韓国、中国、ヨーロッパなどを国別、金種別に仕分けして枚数を数えます。

午後は、学習とまとめの時間です。コインや紙幣のゆくえ、ユニセフ募金の流れを学習し、「経口補水療法」「水がめ運び」「マラリア予防の蚊帳」を全員が体験しました。「コイン博士」から総評があり、「パソコン博士」より集計した結果が発表されました。みなさんが数えてくれたコインの枚数は12,578枚で日本円に換算すると125,008円。紙幣と合わせると合計392,110円でした。今年お預かりしたコインや紙幣は、公益財団法人日本ユニセフ協会へ送りました。

ご家庭に眠っている外国の紙幣やコインがあればご寄付ください。宮城県ユニセフ協会へお送りいただいてもよろしいですし、お近くのみやぎ生協の店舗サービスカウンターにお預けいただいてもけっこうです。世界の子どもの命と健康を守るため、ご協力をお願いします。

### 参加者から「印象に残ったこと」を書いてもらいました

『日本も戦後、(給食の脱脂粉乳など)ユニセフのおかげで復興できたということを今日始めて知りました。ユニセフに助けもらったからこそ、今の日本がある。日本人一人ひとりが世界の苦しんでいる人たちと直接関わりがなくても、ユニセフを通して助けあわなければいけないと思いました。“ユニセフに協力!”を心に留めて、ユニセフ募金を続けていきます。またこのようなボランティアに参加したいです。』(中学2年 橋本瑞萌)

### 参加レポート

## 「せんだい地球フェスタ 2014」

今年の“せんだい地球フェスタ”は『笑顔でつながろう! 異文化を楽しもう!』をテーマに、8月3日(日)、仙台国際センターを会場に開催されました。今回で13回目を迎えるこのお祭りは多文化共生、国際交流や国際協力等の活動をしている団体が仙台国際センターに集まり、様々な国の文化や習慣、雰囲気を楽しむ年に一度のお祭りです。今年は県内の81団体が出展し、約4,300人の方が来場されたとのことで、ユニセフのブースにもたくさんのお客さまにお越しいただきました。市民の国際交流の場でもあり、来場された方々は国際色豊かで、また夏休み期間中の開催ということもあり、小中学生やご家族連れの姿が多く見受けられました。各国のブースや催しも大変興味深く、特に各国の料理が集まる『地球屋台村』は大変にぎわっており、どの料理もおいしい匂いを漂わせていました。

ユニセフのブースでは、ユニセフ活動の写真パネル「子どもたちにやさしい地球を残そう」「シリア危機」の展示、「蚊帳」・「水がめ」の展示、ユニセフ・カード&ギフトの頒布活動を行いました。きれいなグリーティングカードやはがき、キャンドルやおもちゃ類、アクセサリーなど豊富な品揃えで、来場者の目を引いたようです。この日のご利用金額は、98,550円でした。

私は、今回初めて「地球フェスタ」に参加させていただきましたが、お客さまとの交流はとても楽しく、またお子さまが多かったこともあり、ユニセフ製品の購入がユニセフの活動資金として活用されることも広く伝えられたのではないかと思います。また、製品を購入された方の多くが、お釣りを募金してくださったのも、とてもうれしく思いました。当日はたいへん気温が高く、熱中症も心配される中、ユニセフのブースにお越しくださいました皆さま、買い上げくださいました皆さま、ほんとうにありがとうございました。

・・・ユニセフ・ボランティア 廣谷厚子



## 学 習 講 師 研 修 会 報 告

6月5日(木)、6日(金)に札幌にて開かれた、日本ユニセフ協会全国協定地域組織学習講師研修会に参加しました。

全国に25ある地域組織から23地域、40余名の参加がありました。各地の事例紹介を見て感じたことは、低年齢(幼稚園、小学生1~3年)を対象にしたものが多くあり、幅広い層への働きかけに重点をおいていることでした。宮城もパネルシアターを作っていますが、とても参考になりました。各協会の発表の中から、宮城の講師活動のレベルアップにつながるものを、みなさんに伝えていきたいと思えます。今回、各地の発表を聞いていて、同じ日本人でも西と東では「ノリ(?)が違うなあ」と感じました。根っからの仙台人の私は腰がおもいので、改めねばと実感しました。

・・・ユニセフ・ボランティア 折原留美子

今回の研修会に参加した人たちは学習ボランティアとして積極的に活動していて、学習教材になるものを常に考えていることに感動しました。各協会とも、ボランティアの人数はある程度いても、学習ボランティアを希望する人が少ないこと、新しく登録してくれた人には、できることから参加してもらい、ユニセフの活動にだけ込んでもらえるよう、周りの人たちがサポートしていることなども知ることができました。「子どもの権利条約」を活用してのワークショップやフォトランゲージもたいへん参考になりました。全国のユニセフを支援する仲間と会い、話し合うことができたことは、私のこれからの活動の励みになりました。

・・・ユニセフ・ボランティア 高橋京子



# 第17回 ユニセフ・リーダー研修会



8月1日、みやぎ生協文化会館ウィズにて開催しました。公益財団法人日本ユニセフ協会学校事業部部長水野眞理子さんを講師に招き、小中学校の教職員の方々17名と、ユニセフ・ボランティア13名が受講しました。

各学校へお配りしている「ユニセフ案内」をもとに、ユニセフの「仕事」「使命」「歴史」を学びました。この冊子は、学校の先生方が学習や児童会生徒会活動で「ユニセフ活動をすすめる」ための参考書でもあります。ユニセフは「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」に定められた子どもの権利を守るための活動を行っています。4つの権利「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」について、それぞれの条文がどの「権利」に当てはまるかを各自〜グループで検証しました。ユニセフから発行されている「子どもの権利条約カードブック」(冊子)を活用しました。権利条約の中で、ただひとつ日本で100%守られている条文があります。(どの条文か、考えてみてください)

新しいビデオ「シュヌン、シュヌン(聞いてください)」で、開発途上国の子どもの現状〜栄養不良、教育、難民キャンプ、予防接種、子どもの参加や「エクイティ(公平性)」の概念などについても学びました。



参加の方々からは、「今日の学びをきっかけに、自分自身でも深めて、授業や児童会活動につなげていきたい。スタディツアーに興味があるので、現地のことを肌で感じ、子どもたちにつたえられたらと思う。近い将来チャレンジしてみたい」「何のために募金するのか〜自分の未来のため、いっしょに地球を守るため〜ハッとしたり」「講師の先生のすすめかたが上手で、自分の授業にも活かしたいテクニック満載だった」などの感想がありました。また、来年も開催したいと思います。多くの先生方に参加していただきたいと願っています。

(後援: 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、共催: みやぎ生活協同組合)



## わたしもボランティア

## パズルの小さな1ピースとして



私は、かねてからユニセフに限ることなく、何かしらボランティア活動をしてみたいと思っていました。東日本大震災で多くの方々に助けをいただけてから、さらにその想いは強くなっていきました。何か特別な資格や経験があるわけではないので、こんな私でもボランティアなんて出来るのだろうか?と思うばかりで、なかなかその一歩を踏み出せずにいましたが、縁あって、昨年の「ユニセフのつどい」や「ユニカフェ」に参加させてもらう機会がありました。今、栄養不足で困っている子どもの口に食べ物を運んであげるような“直接的”な事でもなく、勉強して明るい未来のためになる職業に就きたいという子どものために学校を作るといふ、すぐに結果の出ることでもなく、今の自分が無理なく出来ることでいいと思いました。いろいろ参加させてもらっているうちに、「全て」が、そして「特別なこと」が出来なくても、他のボランティアのみなさんと力を合わせて「何か」出来るんだという喜びと誇りを持つことが出来ています。

ボランティア活動を始めて1年3ヶ月余り、少しずつでも「自分自身が無理なく出来ること」を増やしていこうとする最中に、あまりに悲惨な現実を知り、自分の非力さを思い知ることもありますが、それでも自分のしていることはムダではないと信じて、活動させてもらっています。

そんな私が一番好きな活動は、ニュース発送作業です。ひとつひとつの封筒の中にニュースを入れて送って、みなさんにユニセフをもっと知っていただく作業。この作業の先に、世界の子どもの明るい未来が繋がっているのかと思うと、一見単純な作業のように思えることに、心をこめて時を費やせます。そして、ふと思えます。ボランティアとは、何かを与えるばかりと思っていたのが、実は全く逆で、とても大切なものをたくさんもらっているのだなと感じられるこの幸福感を大切に、これからも他のボランティアのみなさんと一緒に、パズルの中のちいさな、それでも輝いている「1ピース」として頑張らせていただこうと思います。



ユニセフ・ボランティア 大木啓子



## ユニセフ募金報告 (2014年5月~7月: 宮城県ユニセフ協会預かり)

### <一般募金>

石巻市立門脇小学校児童会、大河原町立金ヶ瀬小学校ボ  
ブラ児童会、大崎市立古川第四小学校ひかりの子児童会、  
川崎町立前川小学校、栗原市立栗駒南小学校福祉委員会、  
白石市立大鷹沢小学校あすなろ児童会、登米市立北方小  
学校児童会、登米市立西郷小学校、登米市立新田小学

校児童会、新潟市立小針中学校、美里町立青生小学校わ  
かば児童会、宮城県白石高等学校吹奏楽部、山元町立山  
下小学校、東北大学生生活協同組合留学生支援バザー、東  
北大学生生活協同組合、(株)サンエイ海苔、仙台国税局  
診療所、(株)豊栄堂印刷所、(株)河北新報社、気仙沼  
市社会福祉協議会本吉支所

### <みやぎ生協ユニセフ応援キャンペーン>

アサヒ飲料(株)、小山産業(株)、(株)スミフル、(株)  
仙水デイリー、(株)千鳥屋製麺所、日本生活協同組合連  
合会、ロッテ商事(株)

(敬称略・順不同)

他にも、個人の皆さまからのご協力をいただいております。  
~ご協力ありがとうございました~

# お知らせ

これからの予定です。皆様の参加をお待ちいたしております。

※お申し込み：電話・FAX・E-mailで宮城県ユニセフ協会へ

## ◆写真パネル展

### 「アグネス大使の中央アフリカ共和国レポート」

日 時：10月16日（木）～11月12日（水）、

12月9日（火）～11日（木）：みやぎ生協白石店

会 場：みやぎ生協の店舗でリレー展示します（詳細はホームページをごらんください）

写真内容：中央アフリカ共和国はユニセフが、シリア、南スーダンと並び全組織をあげて人道支援活動を最優先に取り組んでいる国です。アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使は、4月16日から3日間、日本を代表する新聞社や通信社の記者の方々とともに同国を訪問。世界でもあまり伝えられない同国の子どもたちの置かれている窮状を、写真を通して伝えています。ぜひ、ごらんください。



© 日本ユニセフ協会/2014



© 日本ユニセフ協会/2014

## ◆現地报告会「シリアからの叫び、分裂するイラク」

日 時：12月6日（土）13：30～15：00

会 場：みやぎ生協文化会館 ウィズ2F会議室

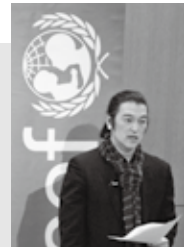
講 師：後藤 健二さん（国際ジャーナリスト、仙台生まれ）

内 容：テレビの「報道ステーション」や「ニュース23」などでシリアの状況を伝えている、後藤健二さんの現地取材を通しての報告会を開催します。2011年から続いているシリア紛争。収束する気配のない中、子どもたちに迫る危機は深刻化しています。隣国イラクの現状もお伝えします。

申し込み：事前にお申し込みください。受付後<参加券>をお送りします。



© INDEPENDENT PRESS



© 日本ユニセフ協会

## ◆ハンド・イン・ハンド （街頭募金活動）

みんなで手と手をつなぐ“ハンド・イン・ハンド”募金活動を行います。世界の子どもたちみんなの幸せと明るい未来を実現するため、ボランティアとしてご参加ください。

日 時：12月23日（火・祝日）

11：00～12：30

場 所：仙台市青葉区一番町界隈

（詳しくはお問い合わせください）



## ユニセフ・カード&ギフト 秋・冬号2014 カタログが発行されています

ユニセフ製品は定価の約50%がユニセフの活動資金として、世界の子どもたちのために役立てられます。ご家族やご友人、お世話になっている方への年末年始のあいさつ、ご贈答品にふさわしいカードやギフト製品を取り揃えました。

なお、ユニセフ自身によるカードとギフト（グッズ）の製作・頒布は本年12月末をもって終了することになりました。これまでユニセフの募金事業の一環としてカードやグッズを直接扱ってまいりましたが、2015年からは、ユニセフが承認した企業～日本においては、（株）日本ホールマークが来年秋からユニセフのロゴマークのついたカード類の製造・販売を行い、その売上の一部を子どもたちのための活動資金としてユニセフに送る方式に移行します。お求め方法については、改めてお知らせいたします。「手から手へ、子どもの幸せを願う思いを乗せて支援の輪を広げる」というユニセフ・カード&グッズの使命は変わりません。引き続きご愛顧、ご協力をお願い申し上げます。



## 宮城県ユニセフ協会

月曜～金曜日 10:00～17:00

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウィズ内

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945

E-mail:sn.municef\_miyagi@todock.jp

URL <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

ユニセフニュースは  
年4回発行しています。  
（1月・4月・7月・10月）

宮城県の会員数

団体： 4

一般： 189

学生： 12